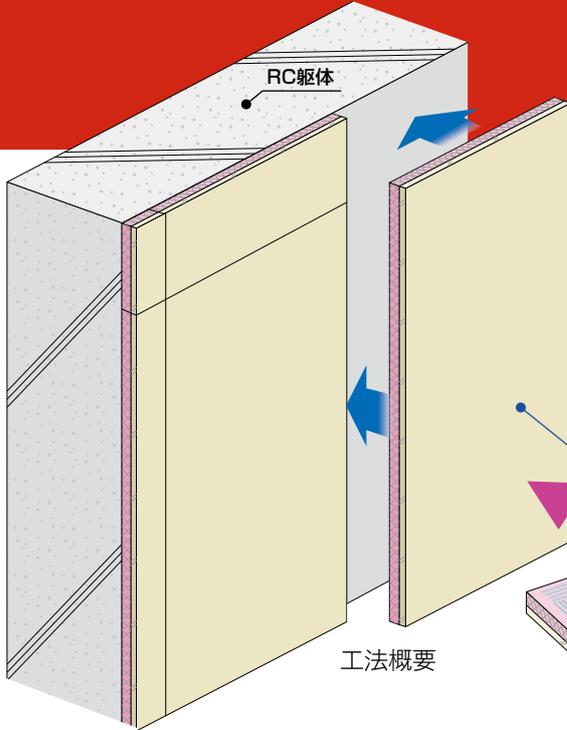


内断熱工法用 高性能断熱ボード RC新築対応

# ネオマ断熱ボードRC直張り工法

石膏ボード複合高性能フェノールフォーム[準不燃材料認定品 QM-0825] RC直張り工法



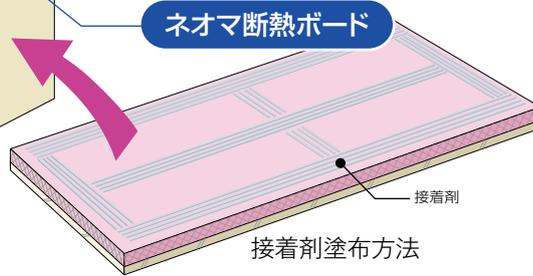
RCの壁・天井に張り付けるだけの簡単施工。  
躯体に直接張り付けるので壁・天井の仕上げ厚を薄くできます。

RC躯体に指定の接着剤で張り付ける簡単施工。ネオマフォームの高性能+接着工法で、仕上げ厚を薄くできます。

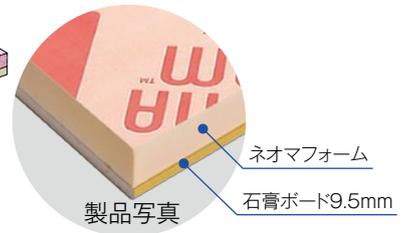
- ※下地を平滑にした上での施工が必要です。(平滑度目安 2mm/2m以内)
- ※天井・梁等はプラスチックアンカー併用となります。



施工状況



接着剤塗布方法



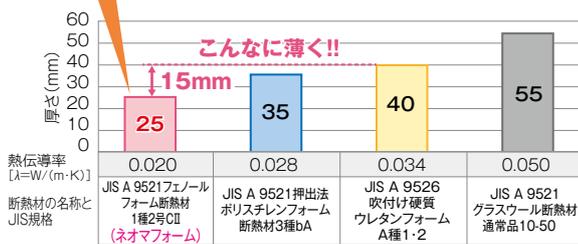
製品写真

## ネオマ断熱ボードRC直張り工法の特徴

### 仕上げ厚を薄く、部屋を広くできます

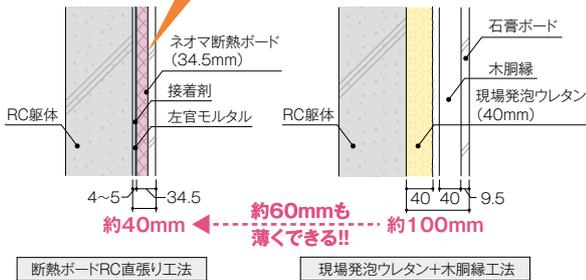
ネオマフォームの高性能+接着工法で、現場発泡ウレタン吹付けなどの工法に比べて、仕上げ厚さを薄くすることができます。

ネオマフォーム25mmで等級4クリア!!



等級4をクリアする必要厚さ(5mm単位切上げ、熱抵抗1.1 [(m<sup>2</sup>·K)/W])

仕上げ厚含め約40mm。部屋を広くできます!!



※断熱性能等級4:当分の間使用できる断熱材の熱抵抗の基準値(RC内断熱工法4~7地区)等級4適合のためには、開口部比率等の条件をクリアする必要があります。

### 安全・安心

ネオマフォームは熱に強いフェノール樹脂。火に当たると炭化するが、燃焼時の発生ガスも少なく、安全・安心です。



燃焼性比較実験



安全・安心の証明

### 軽量性・加工性

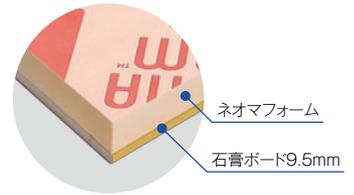
ネオマ断熱ボードは最大でも約12.6kg/枚と軽量。ポリスチレンなどの他素材の複合品と比べて切断しやすく、加工性も良好です。



## 製品規格



ネオマ断熱ボード



構成	
断熱材	複合材料
ネオマフォーム JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CII JIS A 9511A種フェノールフォーム保温板1種2号	石膏ボード 9.5mm

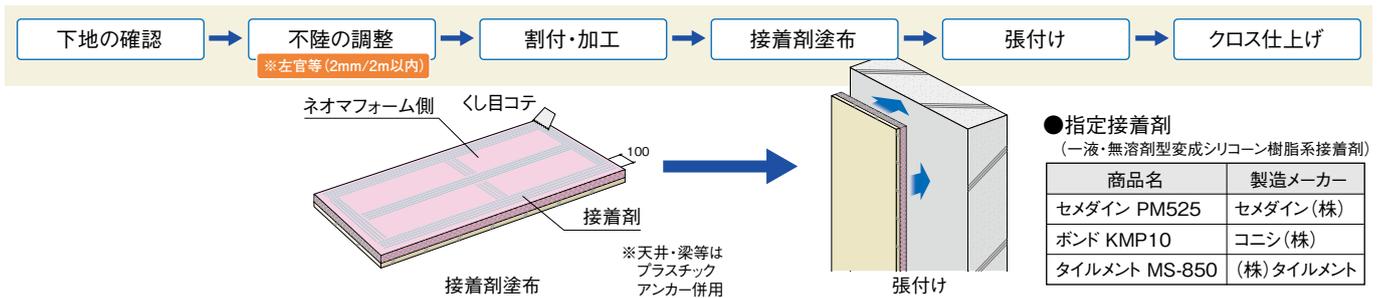
品番	厚さ[mm]			幅 [mm]	長さ [mm]	重量*1		熱抵抗**2 [(m <sup>2</sup> ・K)/W]
	ネオマフォーム	石膏ボード	総厚			[kg/枚]	[kg/m <sup>2</sup> ]	
RS-20	20	9.5	29.5	910	1820	12.1	7.3	1.0
RS-25	25		34.5			12.4	7.5	1.3
RS-30	30		39.5			12.6	7.6	1.5

※1 重量は標準的な重量を示しています。

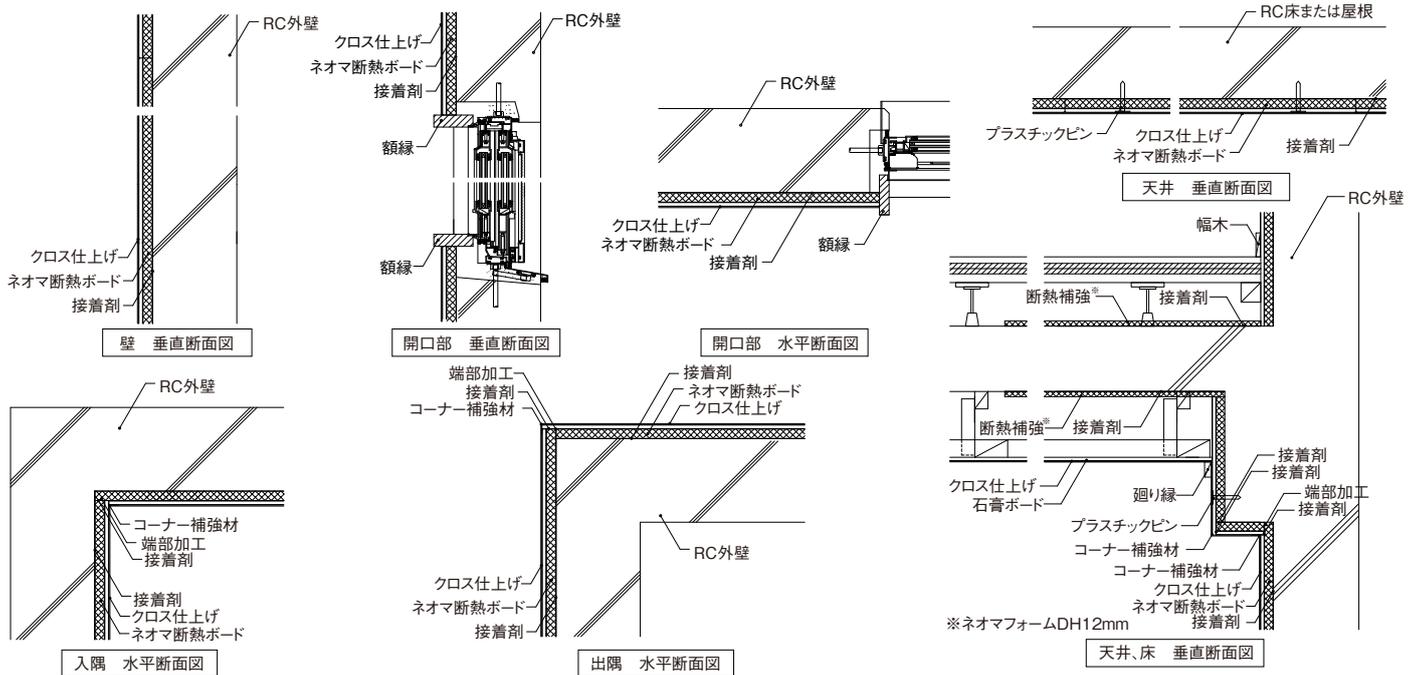
※2 ネオマフォーム単体(複合材料の断熱性能を含まない)の断熱性としています。省エネ計算を行う際には石膏ボードの熱抵抗0.04[(m<sup>2</sup>・K)/W]を加算することができます。(石膏ボードの熱伝導率:0.22W/(m・K)前提)

※石膏ボード側の端部形状はベベルエッジです。 ※上記以外の厚さ商品については、別途、お問合せください。

## 施工手順(壁)



## 参考ディテール



### 〈注意事項〉

- このパンフレットは、ネオマ断熱ボードRC直張り工法に関する一部を紹介したものです。
- 適用範囲(部位、下地、仕上等)、注意事項および施工方法等の詳細に関しては「ネオマ断熱ボードRC直張り施工マニュアル」を必ず確認の上、遵守願います。
- ネオマフォームの詳細については、「ネオマフォームカタログ」を参照ください。
- 記載内容の仕様、物性、品質等は予告なく変更することがあります。
- ご使用に当たっては、安全確保及び関連法規の順守をお願い致します。
- 改修にも適用可能です。但し、はつりや左官等で下地を平滑にするのととも養生期間を十分にとり、下地が十分乾燥している状態で施工してください。
- 改修の場合、部分断熱(ゾーン断熱)にも対応可能ですが、その場合は未断熱部との温度差が大きくなり、結露などが発生する場合がありますので、十分な換気をしてください。
- 石油ストーブ・ファンヒーター・加湿器などの水蒸気を多量に発生させるもの使用は避けてください。(室内に多量の洗濯物を干すことも避けてください。)
- 開口部の高断熱化も併せて実施してください。

## 旭化成建材株式会社 <http://www.asahikasei-kenzai.com/>

●お問い合わせは

本社 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105(神保町三井ビルディング) TEL.03-3296-3531 FAX.03-3296-3535  
 札幌 〒060-0002 札幌市中央区北二条西1丁目1(マイルト札幌ビル) TEL.011-261-5443 FAX.011-261-0975  
 仙台 〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-1-1(仙台ファーストタワー) TEL.022-223-8171 FAX.022-211-9526  
 名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11(名古屋インターシティ) TEL.052-212-2251 FAX.052-212-2257  
 大阪 〒530-8205 大阪市北区中之島3-3-23(中之島ダイビル) TEL.06-7636-3838 FAX.06-7636-3828  
 広島 〒730-0017 広島市中区鉄砲町7-18(東芝フコク生命ビル) TEL.082-511-5110 FAX.082-511-5127  
 福岡 〒810-0012 福岡市中央区白金1-20-3(紙与薬院ビル) TEL.092-526-2107 FAX.092-526-2492